

レイクヴィラファームが成香 自治会に神輿寄贈

史 上初の3冠牝馬・メジロラモーンを輩出したレイクヴィラファームが、成香自治会に神輿を寄贈しました。メジロラモーンを育てたメジロ牧場(2011年解散)が、活躍を記念して成香自治会に神輿を寄贈



神輿を挟んで笑顔を見せる丸田会長(右)、岩崎さん(中)
神輿を作った高清水建設の中元さん

したのは1987年。今回の寄贈は、メジロ牧場の資本を引き継いだレイクヴィラファームが、生産馬グローリーヴェイズ号による2019、21年の香港G1制覇を記念したものととなります。グローリーヴェイズは、メジロラモーンのひ孫に当たり、メジロラモーンの子孫はいまだ現役。今後は「2頭体制」で成香の祭りをにぎわせることとなります。

同ファームの岩崎義久さんは成香出身。子どもの頃にメジロラモーンの子孫とお祭りを楽しんだ思い出を今も大切にしています。成香自治会子ども育成会の一員で、メジロの子孫より50年以上前から担がれていたもう一つの神輿の老朽化もあって寄贈のために奔走しました。「神輿を担いだ子どもたちが成香に戻ってきて、地域を盛り上げてくれたら」と願います。

自治会の丸田明会長は「コロナ禍でもう神輿で回れないだろうという話も出ました。地域の伝統を復活でき、神輿の寄贈でお祭りをさらに盛り上げることができてうれしいです」と笑顔をこぼしていました。

洞爺湖の自然を歩くツデー マーチ開催

第 36回北海道ツデーマーチが行われました。9月9日、10日の会期中、延べ600人以上が参加し、美しい湖の景色を楽しみながら散策しました。

初日は、湖畔を巡る「洞爺湖一周ジオパークコース」が行われ、全国各地から集まった健脚自慢たちが全長約40キロの道のりへ。秋の日差しに照らされた湖面や黄金色に染まった財田地区の田園を眺めながら歩を進めました。



洞爺湖を背に進む30キロコースの参加者



2日目は「有珠山ぐるっとジオパークコース」が行われました。昭和新山から立ち上る白煙や、噴火湾、西山の散策路を通りながらはつらつと前へ。途中ではホタテ汁も振舞われ、疲れた脚を休めていました。

関連事業として、子どもたちが約2キロのコースを歩く「キッズウォーク」も行われ、歩く楽しさを体験しました。



楽しく声を掛け合いながら前進



無事にゴールし、労をねぎらって笑顔



キッズウォークに参加した子どもたち